

2023年度
イベント

第10回

10th
Anniversary

＜志方 稲岡工業株式会社の文書整理から学ぶ＞

「稲岡工業株式会社文書」保存会10周年を記念して

わたの里の「記録」

【主催】「稲岡工業株式会社文書」保存会 【後援】加古川市教育委員会・神戸新聞社・BAN-BANネットワーク株式会社

令和6年

1/14

日曜日

13時00分

入場
無料

プログラム

- 開会 [映像] 『保存会活動の10年』〈江村直樹制作〉(13時00分～)

[挨拶] 保存会代表 鹿多 証道

- 第1部 [講談] 創作講談『稲岡工業ものがたり ～明治維新を生き残れ!～』

〈講談師〉旭堂 南海先生

(13時20分～)

旭堂 南海(きょくどうなんかい) 上方講談師。
1964年4月20日 加古川市志方町に生まれ。
本名 内海浩明。高校時代は落語研究会に所属。
大阪大学文学部で日本文学(近世文学)を専攻。



— 休憩 (10分) —

- 第2部 [公開座談会] 文書目録作りについて (14時15分～)

〈パネリスト〉 上月 昭信・藤原 巧・織田 正樹・境井 典子・北林 弘子・武内 安雄・斉藤 美節子
白井 信雄・増田 行雄・加藤 万里子・朝山 節子・松本 真紀・宮田 英二・吉田 ふみゑ

〈司会〉 渡辺 千尋 (東洋大学経済学部講師)

〈助言〉 佐々木 淳 (龍谷大学経済学部教授) 田中 光 (中央大学経済学部准教授) 西向 宏介 (広島県立文書館主任研究員)

— 閉会 (15分40分) —

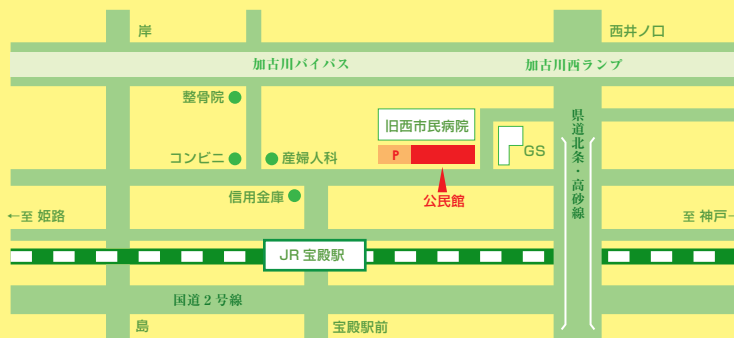
【会場】

加古川西公民館 大ホール

兵庫県加古川市米田町平津384-2

※電車の場合は、JR神戸線宝殿駅下車、北口から徒歩5分です。

※自動車の場合は、西井ノ口交差点(加古川バイパス加古川西ランプ)から南方向、国道2号線平津交差点北方向)を西方向に入って南側にお進みください。



この事業は令和5年度、兵庫県東播磨県民局及びここら豊かな美しい東播磨推進会議から「東播磨地域づくり活動応援事業」の助成を受けています。

【お問合せ】「稲岡工業株式会社文書」保存会事務局(吉田) ☎ 079-432-0956 / [e-mail] easyysida@bb.banban.jp

「稲岡工業株式会社文書」保存会の調査・分析風景



■和綿も栽培しています

播磨全域、特に加古川地域は、古くから綿作・木綿織の特産地として発展してきました。明治維新以降、在来の綿織物業が衰退傾向をたどっていく中、明治20年代から志方横大路の稲岡九平家がいち早くタオル製造業へ転換することにより、タオル・靴下という新たな繊維産業をこの地に根付かせることに成功しました。「稲岡工業株式会社文書」は、天保12年（1841）の木綿問屋九兵衛家の分家から稲岡工業株式会社が倒産した2012年まで、170余年間もの長きにわたって途切れることなく蓄積されてきた膨大な文書群です。



■整理を終えた文書箱



■蔵の中で整理作業を行う



■未整理の文書箱が保存されている蔵

わたの里通信誌（年に1回発行しています）



創刊号(2015.3)



第2号(2016.3)



第3号(2017.3)



第4号(2018.2)



第5号(2019.3)



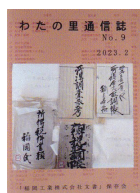
第6号(2020.2)



第7号(2021.2)



第8号(2022.2)



第9号(2023.2)